

令和2年度 わくワーク 事業計画

1、 事業方針

わくワークは、経営理念『わくワークに所属する全社員（利用者含む）は地域社会を大切にし、その一員としての役割・使命を全うします。』を基本に本事業計画を策定する。

事業方針として第二種社会福祉事業（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業の運営）より、生産活動・施設外就労・その他の活動の機会を提供するとともに、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫し、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として事業を行う。

2、 重点目標

① 提供事業の重点

- ・社会に必要とされ、役に立っていると実感できることを前提としながら、所得の保障が望める事業を実施し、高い工賃の支払を目標とする。

わくワークの就労継続支援事業は委託販売と請負作業（施設外就労を含む）で構成される。委託販売は地域の方々がお客様であり、受託作業は発注企業がお客様であることから作業における成果の姿はお客様の満足を求めるB型の利用顧客が主体的に設定した目標の達成とする。（これは工賃額ではない）『どのような行動によって誰の満かがもたらされるか』を考え、目標設定していただき消費者・発注企業の満足の姿が実感できるように日々のミーティングや活動において丁寧に消費者・発注企業の情報を伝えるものとする。

② 利用者支援の重点

- ・利用者さん一人ひとりの「その人らしさ」を踏まえながら個々のニーズを的確に汲み取り、サービス等利用計画と個別支援計画に沿って支援を行ない、「その人らしく」生きる事を支援する。

様々な能力のある方とそこそご家族にとっての新しい価値の創造（イノベーション）を求めて、利用者さんにとって心の拠り所となる発見やワクワクがあるサービスを提供し仕事のある充実した生活を創造するとともに、経験を積み重ねることから自らのビジョンに向かうことができる行動する勇気を引き出すことを重点とする。

2、 利用者・職員数

利用者 22名（男 15名・女 7名）

職員 7名（正規 2名・嘱託 1名・パート 4名）